

立守での経験が、今の私を作ってるんやなーっ思う。

語り手 村瀬 稚奈（高校十七期生 生命科学部）
聞き手 佐々木 彩葉

*

クラス愛

―なぜ今回、聞き書きの語り手に応募してくださったのですか。

まず元々うちフロンティアクラス（以降、FTクラス）やって、受験するか迷ってたけど、やっぱ立命館行こうってなって、二、三月は全然空いてるから、その時に先生から、九組、誰も聞き書きの語り手をやる人がおらんから、やって欲しいって言われて、やろうってなった。で、FTクラスは、三年間ずっと高校一年から一緒にあったから、めっちゃ好きで、そのクラスのこととか言えるんやったらいいなと思って。普通にうちクラス愛が強くて（笑）。やから応募しました！

―三年間一緒だと、クラス替えもなくて絶対仲良くなりますよね。

そうそうそう。なんか、家族みたいやな。やっぱ、内部進学って決まってるのと、受験するって決まってるのでは、不安がみんなそれぞれあるからやっぱり違うのかなー。あとは、FT合宿とか、講習とか、ちよっと、他のクラスとは違うイベントがあるから、そういうところで、仲良くなったたり、支えあったりできるのがうちのクラスのいいところやなって思う。

―でもFTクラスは勉強ですごく忙しいイメージがあります。

そうそうそう。でも大変やからこそ、「しんどいけどみんなで頑張るか！」みたいな感じで仲良くなるかな。あと、話は変わっちゃうけど、文化祭とか体育祭は、唯一パーツで弾ける日で、それもめっちゃ良かったな。そういうので、勉強する時と、しーひん時とめっちゃメリハリがみんな凄かったから、しんどいことがあっても、みんな頑張ってるから、自分も頑張ろうって思えたそんなクラスやったな。

―とてもいいですね。高二の文化祭で、劇もしましたよね。

そうでした。なんか高一の時に、これから市民ホールで劇をしたいですかって聞かれてんな。で、うちらはやりたいなってなって、やるからには高一でちっちゃい劇をやらなかんって言われたんよ。だから高一の時はクラスの中でコンフィデスマンJPをして、脚本借りたりとか舞台も作ったりとかして劇した。その劇が認められて、高二で市民ホールで劇をしてもいいよってなって、市民ホールで劇した。うちのクラスはめっちゃ勉強をするって感じやけど、でも行事も頑張りたいって感じやから、市民ホールの劇も頑張れた。

―とてもクラス愛が伝わってきました！

*

部活動や課外活動での経験

―ユネスコクラブ（非政府組織（NGO）として、国際平和と人類共通の福祉の実現を目指し、草の根活動を行っている）に入っていたと伺ったのですが、ユネスコクラブではどのような活動をされていたのですか。

ウクライナとロシアさ、戦争してるやんか今。で、私が高一とか高二の時は、ウクライナとロシアの戦争が初期やったから、今の状態をウクライナの人にインタビューするとか、日本の文化が好きなウクライナ人と話して、リフレッシュするみたいなボランティアをやってた。その時

にアポイントメントとかを英語で結構しないといけないんやけど、当時のお世話になった先生が色々教えてくれてめっちゃありがたかった。

*

— 先ほど、ケニアで課外活動をしたとおっしゃっていましたが、ケニアでの課外活動は、村瀬さんにとってどのような経験になりましたか。

うちは環境問題とか国際問題とか興味があったから、スラム街とかゴミ山は、元々生で見たいなと思ってんな。でスラム街も行ける機会があるなら行きたいと思ってた。で、やっぱり日本ってさ、アスファルトが綺麗で、電車もあって、交通網がよく整備されているけど、ケニアって、道がまず土なんよ。ほんまに都市部の、ナイロビとかは整っていたけど、ちよつと街を外れると、ほんまに道が土なんよ。で、信号ないし、車も渋滞してるし、ちよつと走ったらスラム街とか、があって、怖いなって印象を抱いた。あとは、やっぱり教育があんまりかな。小学校に行けてない子もいるから、そういう問題もあるんやなと思った。あとなんでゴミ山があるんやろって考えると、それは、国がそんなにお金持っていないとゴミ処理場作れへんっていう理由があるってことを学んだかな。そういう、結構国レベルの問題を知れたから、行ってよかったと思う。でも自分の英語力がなさすぎて、英語もつと話せばよかったなと思う(笑)。立守はそういういい経験がたくさんできるから、その時の立守での経験が、今の私を作っているんやなーって思う。

— 高校二年生の時のニューヨーク研修では、どのようなことを学びましたか。

うちらは結構、国連とか領事館とか行った。会議とかはあんま見れなかったけど、その国連の色んな場所行って、ここで何してるのか、コメントとか絵画とかあったりして、それに意味が一つ一つあって、世

界情勢を表してるのかがいっぱいあって、そういうところで働いている人もいるんやなって思っ、すごい貴重な経験になった。

— 立守には、様々な課外活動やイベントがありますが、他に何か参加されたイベントなどがありますか。その経験が今の大学生活にどう繋がっているのか、またこの先社会に出た時にどのように繋がると思っていますか。

うちは、ボランティアサークルとか、SDGsに関連する活動をしたりとかした。でもやっぱり一番衝撃が大きかったのはケニアかなあ。他には、例えば琵琶湖を守るために、外来種ボックスっていうのがあるんやけど、外来種を釣ったら外来種ボックスに入れようとか、戻さないようにしようとか。あとは、日本文化研究部やって、茶道って日本文化やから、色んな国の人が来るんよ。それで、留学生とかに英語で茶道を教えたりもした。とか、英語のプレゼン大会とか、戦争ボランティアとかもした。そういう国際交流が立守ではめっちゃできたから、オンラインも対面も。やからコミュ力はまじでついたと思う。英語はそんなネイティブみたいじゃ喋れるわけじゃないけど、ちよつとでも喋ろうみたいな気力あるとちよつとだけ喋る時ってあるやんか。なんか自分喋れるって思ったらなんとなく頑張れば喋れるみたいな。なんかそういう精神論みたいなところなんやけど、そういうのでも頑張った。しかも、学校外のプログラムもいっぱい紹介してくれたりするから、それもありがたいと思う。しかも色んな人と会うとほんまに勉強になる。うちはGL(グローバルコース)じゃなかったから、GLミッションとかはできひんかったんけど、それでもたくさんの方の海外の人との交流の機会が誰にでもあるっていうのは、立守の強みやなって思う。やから色々やってみるのマジで

大事やと思うな。自分ができひんっていう確認にもなるし、やからこそ頑張ろうみたいな感じにもなるし。

―他にも、立守の良さはなんだと思いますか。

さっきも言ったけど、国際交流もあるし、部活も結構強いところもあるし、あとは先生がいい。先生も余裕ある人多いし。あと、随時いろんなプログラムがクラッシーに流れてくるやんか。あれほんまにすごいな―と思って。結構その他の学校は、修学旅行で海外行くとか全然普通じゃないらしくて、そこが、他の学校には無い立守でしかできない貴重な体験やと思う。あと、行事を結構全力でやるやんかどのクラスも。そういう勉強もそうやし、ボランティアとかの課外活動も頑張っていたら、表彰とかもあったりして、めっちゃ評価されるのもそうやし。頑張れば頑張るほど、いろんなことができるようになる場所やなっている。だから、FTクラスは、結構勉強だけってクラスっぽいんだけど、結構好き勝手やっとして、色んなプログラム参加してたし。誰でもそういうプログラムとかに参加できるのはいいなと思う。

―高校生の探究活動では何をされていましたか。

耕作放棄地っていう、農家さんが高齢でもう農業できなくなって、土壌とか田んぼとかの水の状態が全然管理されてない状態の土地のことやねんけど、結構日本が高齢化進んでるから増えてるらしいねんな。で、その耕作放棄地が増えると、そのまず土壌の状態が悪くなっちゃって、もう一回農地として使えなくなるとか、あとは、そこにポイ捨てとか、野生動物住んじゃうとか、もともとさ、食べ物作ってたから、ちよつと栄養分があるものとかがあったり、雑草とかも結構いい栄養があるねんな。で、野生動物住んじゃうとか。あと、農薬を今まで使ったのにな、管理されなくなると使えなくなると、害虫とかっていうのが近隣住

宅にめっちゃ被害を出してて、もともと使えるはずの土がもうダメになっちゃうみたいな。それを知って、解決したいなと思って、探究のテーマに選んだ。でも、まず、あまり知られてない問題で、被害受ける人しかそれを認識してないから、地域全体でその土地を有効活用しなアカンよねっていうのを広めるために、ポスター作って、大津市役所に貼ってもらったみたいな感じの活動をした。

*

中学時代

―中学校の時はどのような活動をされていましたか。

中学は琵琶湖の活動とか、発展途上国とかの、服があまりない地域のために、ユニクロに服を送る活動をした。あとは海外にもちよつと興味あったのかな。で、インドとオンラインプログラムをして、その時に、インドのごみ山問題を知って、「なんだこれは！」ってなって、中学生ながらにね。でびつくりして、こんな世界があるのーみたいな。その衝撃がでかすぎて、それ「困ってる人めっちゃおるやん」と思って、でケニアの活動した時は、そこは結構繋がってるなって思った。ケニアのゴミも実際行けるっていうのは。ああ、でもこれはずっとオンラインやったから、中学の活動をぜひ高校に活かしたいなと思って、現地に行けるんやったら絶対行きたいってなって、ケニアに行ったかな。こんな感じで、中学の活動が高校に響いてるっていうのはある。中学の時も高校に比べたら少ないけど、やっぱり立守はいろんな交流が盛んやった。

―中学校の海外研修ではどのような経験を得られたと実感されていますか。

中学の海外研修は、あ、そうコロナでなくなったんよ。ニュージール
ランドに行く予定やった。で、沖縄も無くなっちゃったんよ、コロナで。
だから全部オンラインで（笑）。なんか、沖縄オンラインやった。まず
映画を観るんよ沖縄戦の。で、沖縄の戦争について活動してる人たちと
話そうみたいなとか、沖縄のそういう景色を、バーチャルツアーみたい
な（笑）。

*

（ここで部屋の時間が来たので、三階のラウンジに移動する）
すこ、懐かしいー。（歩く生徒を見て）制服あるやんか、高校。いい
なーって感じ。なんか友達との写真とか見返したら全部制服で。制服つ
てまじで高校生までしかきれへんから（笑）ほんま大事やわ。

*

立守って個性豊か

ー制服はどんな組み合わせをしていましたか。

紺のセーターをよく着てた冬は。紺色がいつちゃん可愛い。夏はな、
水色が好きで、水色のシャツ着てた。あと、水色のベストもあったし。
珍しいよな。でも結構うちの学年は、水色のベストを何人かは持って
てん。でも結構珍しかったから、学年に五人ぐらいしかおらんくて。水
色のベストおったらレアみたいな（笑）。レアレアキヤラやったな

（笑）。あとさ、ネクタイもオッケーになったやん。マジ可愛いよな。

なんか気分によって変えられるのめっちゃいい。あと、中学受験の時いろ
んな学校行って、立宇治も、本校も。で、立命館附属校の中やったら絶
対立守の制服が一番やなって思った。そういうのも含めて立命館の中や
ったら絶対立守やった。

*

後輩達へ

ー今の立守の後輩達に伝えたい、アドバイスなどはありますか。

うちは、結構、今の実力よりも先のことばかり考えちゃうタイプ
で、どの大学の何学部に入ろうみたいのを高一からずっと考えとって、
その割に毎日の授業は結構わからないこともそのままだったりとか、宿
題はとりあえず終わらせること第一優先みたいな感じやったんよ。で
も、立守のFTクラスに入ってみんな見て思ったのは、一つ一つの授
業の内容を自分の知識として使えるのか、毎回のテストとかも返却され
たらできるまで見直すとか、どのテストも満点を目指して勉強するのが
大事だったなあ。知識は蓄えられればられるほど、もっと蓄えた
り、その知識を活用する力が増えると思うし。

それは英語とかでも応用できて、英語のボキャブラリーとかがある
と、めっちゃ話せるし、その英会話ができたなら、立守って国際交流豊か
やから、いろんな友達ができたりとか、プライベートでどこか行くとか
いう、結構可能性とかいろんなチャンスがあるから、自分の能力を高め
とくのをできる限りやったりとかすると思う。どこを指す
っていうのを決めるのも大事やけど、そこに自分の実力を持つていく
というのが結構地味に辛くて大変で、できるようになるまでやるって
いうのが、FTクラスのみんなから学んだことで、高校の時の反省点で、
大学生になって結構自分の中で意識してるところ。後輩の子達にもそれ
を意識して生きていってほしいなって思う。

あと、能力を伸ばし続けるっていうのはずっと大事なんやけど、交流
とかってこの日のこの時間みたいな感じで限られてるから、交流があっ
たら、ぜひ積極的に取り組んで欲しい！その上で、イベントだけじゃな
くて、普段の授業とかの他のところでもできる限り、ほんまに自分の身

になるように、いろんなことを見て、学んで、取捨選択して身につけていくのが大事かなって思います。わかんないけど（笑）。

＊

—ありがとうございます。私も先輩のように、いろいろなことに積極的にチャレンジしようと思いました

—最後に二人の写真を撮ってもいいですか。

もちろん、もちろん！ 撮ろ、撮ろー。

—本当にありがとうございました。また機会があればよろしくお願いします。

【感想】

今回の取材では、立命館守山高等学校の強みの一つである、国際交流などの課外活動が、生徒一人一人に多くの影響を与えていると感じました。今後は、村瀬さんのように、様々な国際交流イベントに参加し、異なる価値観を受け入れる力や、行動に移す勇氣を持ちたいと思います。



右：語り手 村瀬稚奈さん
左：聞き手 佐々木彩菜